

チャバネアオカメムシの発生が引き続き多い状況です

果樹園での今後の発生動向に注意してください

[現在の状況]

- ① 8 月下旬現在、ナシにおける被害果率は平年よりやや高い。
- ② 8 月下旬現在、果樹園に設置した予察灯へのチャバネアオカメムシの誘殺数は笠間市及びかすみがうら市で平年より多い（図 1， 2）。
- ③ 8 月下旬現在、主要な餌場及び繁殖場所であるヒノキ林における果樹カメムシ類の幼虫の発生は平年よりやや少なく、次世代成虫の発生も少なくなると予想される。
- ④ スギ及びヒノキの球果数が少なく餌が不足しているため、今後カキ，リンゴ，晩生ナシ等の果樹園へ飛来する恐れがある。

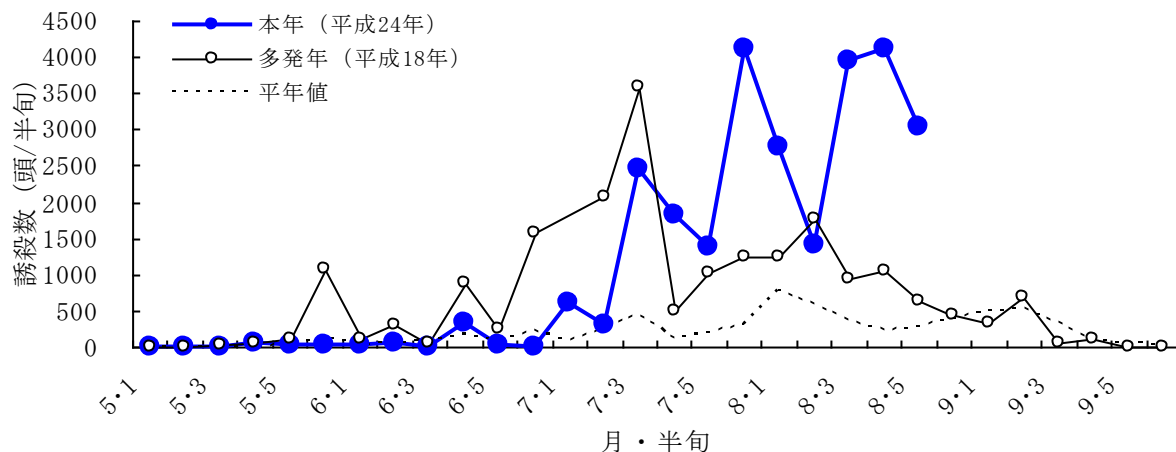


図 1 チャバネアオカメムシの予察灯（笠間市）への誘殺数

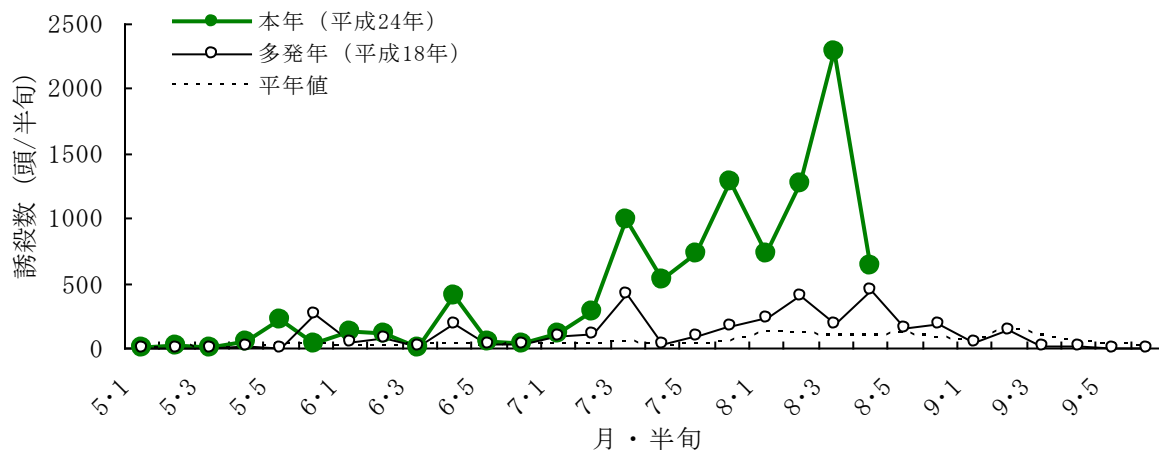


図 2 チャバネアオカメムシの予察灯（かすみがうら市）への誘殺数

[防除対策等]

- ① 果樹園内でカメムシ類を確認した場合は、活動の鈍い早朝に薬剤防除を行う。
- ② 果樹園への飛来が多い場合は、参考防除例や下表を参考に追加の薬剤防除を行う。
- ③ 合成ピレスロイド系薬剤は、カメムシ類に対して効果が高いが、天敵類に及ぼす影響も大きく、ハダニ類やカイガラムシ類の多発生を招く恐れがあるので注意する。
- ④ 薬剤を散布する場合は、必ず農薬のラベルを確認し、収穫前日数等の農薬の使用基準を守るとともに、周囲への飛散（ドリフト）に十分注意する。

表 カメムシ類に登録のある主な薬剤（平成24年8月20日現在）

系統名	薬剤名	カキ	リンゴ	ナシ
ネオニコチノイド	アクタラ顆粒水溶剤	○ (3)	○ (7)	○ (前日)
	アドマイヤー水和剤	○ (7)		○ (3)
	アルバリン顆粒水溶剤) スタークル顆粒水溶剤)	○ (前日)	○ (前日)	○ (前日)
	バリアード顆粒水和剤		○ (前日)	○ (前日)
	ダントツ水溶剤	○ (7)	○ (前日)	○ (前日)
合成ピレスロイド	スカウトフロアブル	○ (7)		○ (前日)
	テルスターフロアブル	○ (3)	○ (前日)	○ (前日)
	アグロスリン水和剤	○ (前日)		○ (前日)
	ロディー水和剤	○ (7)		○ (前日)
有機ケイ素	MR. ジョーカー水和剤	○ (14)	○ (14)	○ (14)
その他	キラップフロアブル	○ (7)	○ (14)	

○：当該作物に農薬登録有り，（ ）内の数字は収穫前日数